

深町伝統太鼓踊り

深小学校

六年 柏原 琴衣

私は、六年生になって、いろいろなことを学びました。その中で、深町の太鼓踊りが一番心に残っています。運動会で、毎年六年生がしていた太鼓踊りを一年生の時から見てきて、憧れやうらやましさを抱いていました。私も六年生になったら、家族や地域の人が「すごいな。」と思ってくれるような太鼓をたたきたいと思っていました。そして、いよいよ今年私は、運動会や干川神社の秋祭り、学習発表会で深町太鼓踊りをしました。



初めてたいた日、私は、「うまくたたけるかな」と不安に感じたけれど、指導者の方の拍子を元にもみんなと一緒に太鼓を打つと、自然にリズムののってうまくたたけるようになった。みんなとリズムを合わせることも、とても楽しかった。そして、運動会、最後のクライマックスが太鼓踊りです。毎年、六年生がとても楽しみに打っていたのを思い出して、その気持ちがよくわかりました。

運動会が終わってからは、総合的な学習の時間に太鼓踊りの歴史について地域の方から学びました。深町の太鼓踊りの歴史は長く、室町時代から始まり、雨乞いを願ってやり始めたのが起りです。けれど、昭和二十年代に太鼓を打つ人が集まらなくなり、一度なくなってしまうことになりました。しかし、昭和五十年ごろ青年団が集まり、活動を再開し、深町太鼓踊りを復活させました。このことから深町の人々の太鼓踊りを絶対に守り続けようとする思いが強く伝わりました。

そこで、今年の学習発表会では、この出来事をぜひ深町の人々に伝えようと思いい、その当時の太鼓踊りを復活させた地域の人の話を聞いたり、郷土誌で調べたりして劇を作りました。その結果、六年生として最後の発表会となる太鼓踊りは、受け継がれた歴史を調べた上でやっつたので、運動会のようにも、ずっと心の通い合ったり、リズムと深町の伝統を受け継ぐ思いで太鼓を打っていました。

私は太鼓踊りを通して、一生忘れない経験になりました。わたしの中にも深町の伝統と歴史が流れているという思いはわたしの宝物です。このことを誇りに、これからも今まで以上に地域に協力し、一生懸命に学校生活がんばっていききたいと思います。

深小PTAだより

子供達の安全のために

環境部長 入川 和弘

PTA環境部活動として、通路を中心に危険箇所へ注意を促す看板設置をしております。本年度も設置場所の確認のため六月中旬見回りを行いたいと思っております。土地や井戸の所有者の皆様にはご理解をいただきますよう、よろしくお願いたします。

第二中学校だより

響き合う二中っ子

第二中学校校長 清水 秀宣

人は、夢や目標など何か目指すものを持つと、それを実現するための取組を自ら進んでやるようになります。そして、その取組をやり続けていると、必ず大きな壁や困難にぶつかります。しかし、決してあきらめることなく我慢強くやっていると、それを乗り越えることができ、大きく成長することがあります。そのときの頑張っている姿や成長した姿は、周りの人たちに多くの感動や元気を与え、最終的に夢が実現できた時には、それに関わったみんな喜びを分かちあうことができます。

第二中学校では、校訓である「響き合う二中っ子」のもと、今年度の学校教育目標を「夢を持ち果敢に挑戦し社会に貢献する生徒の育成」とし、第二中学校に通う生徒たちが、学校生活を充実したものにしたい、希望する進路に進むことができるよう取組を進めていきたいと思っております。生徒たちの夢を具体化し、その実現に向けて、日々の学習や部活動、学校行事や地域での活動等に取り組み、今以上の自分をめざして仲間と共に頑張っていきたいと思っております。そして保護者や地域の皆様のご支援ご協力をいただきながら、二中に関わるみんなで、すばらしいハイモニーを奏でていきたいと思っております。

TBG協会だより

第八十六回三原市ターゲット・バードゴルフ大会

第八十六回三原市TBG月例会大会
四月二十日(土) 深町・城山コースにて行なわれました。



成績は次の通りです。

- 一位 谷岡 義昭
- 二位 天木 雅之
- 三位 金子 勝彦
- ベストスコア六十七
- 金子 勝彦
- ホールインワン 金子 勝彦
- 二人組戦 三崎 卓夫
- 一位 竹ノ内洋子

大会終了後深町町民会館にて総会をしました。

※選手の敬称略

次回大会は五月二十五日(土)

TBG事務局 天木 雅之
(TEL 六三二二九九〇)

深小今昔ものがたり(十九)

尾道市美ノ郷町 石井 哲代

昭和四十六年、三学期が始まりました。三月には、三原市内小中合同音楽会が有るので、四、五、六年生全員の合唱で出場することになりました。

六年生、下垣内先生、五年生、松垣先生、四年生、石井で放課後練習しておりました。曲は思い出せない。むずかしかった筈。放課後、練習!!練習!!練習!!ところが、何らかの理由で音楽会は中止になりました。安川校長先生は一生懸命していた子供達の発表の場が無くなった事を残念に思い、前任校長小泉町にある盲人ホーム白滝園での演奏会をおもいつかれ、交渉、快く受けて頂き、音楽発表の場を頂きました。

さて、次は交通手段?と、ニコく牛乳会社へお勤めの久保さんから、「牛乳会社見学を兼ねたら、バスを出します。」と、申出て下さいました。助け船とはこの事です。まず子供達は張り切りしました。

当日、先ずニコく牛乳会社へ、ベルトに乗って出てくる牛乳瓶にびっくり。見学させて頂き一本ずつ試飲させて頂き大よろこび。

子供達の興奮をのせてバスは小泉町の盲人ホーム白滝園へ。集会所へ皆さん集まって待っていてくださいました。大拍手で迎えて頂きました。壇上で六年生も、五年生も、四年生も、合唱や合奏、朗読、一生懸命やりました。大拍手です。涙のお年寄りの方も。次は舞台から降りてお年寄りの肩もみや、肩たたき。

「セッセセノヨイヨイ」の声も「ジャンケンポン」の声も「バーよ」「グーよ。」声は入り混じり楽しい一刻でした。

「又来て下さいよ。」子供の姿は見えないけれど、玄關まで出て手を振って下さった皆さんの姿、これが御縁で昭和五十四年まで白滝園訪問は続くのです。

広島県議会議員一般投票状況
深町投票区(深町・中之町南)
平成31年4月7日執行

性別	当日有権者	当日投票	期日前投票	不在者投票	計	投票率(%)
男	474	116	35	0	151	31.86
女	516	121	42	0	163	31.59
計	990	237	77	0	314	31.72

※各数字は人数を示す(投票率を除く)。
◎三原市全市内投票率: 39.07 %
◆資料提供: 三原市選挙管理委員会 事務局

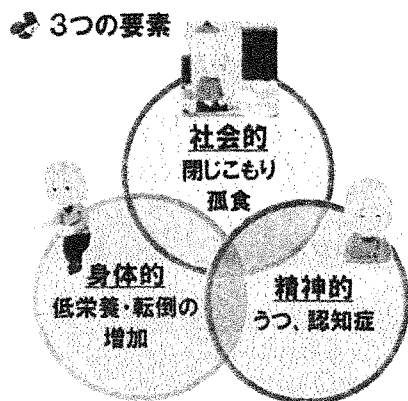
高齢者相談センター

どりのむだより

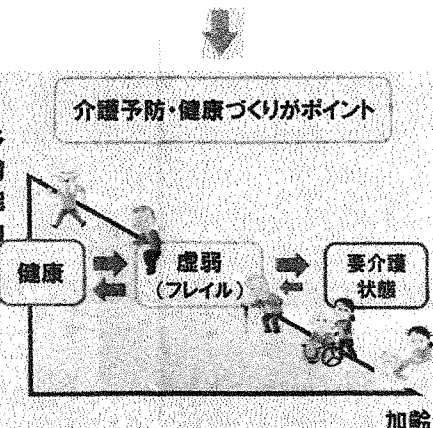
電話 六一一四四一〇

高齢者相談センターどりのむだよりは、高齢者の日常生活上のあらゆる相談に応じています。お気軽にご連絡ください。(相談は無料です)

「フレイル」とは、高齢者の身体機能や認知機能が低下して虚弱となった状態のことをいいます。



フレイルの時期に適切な介入・支援があることで、健康な状態に戻ることが出来ます。



フレイル予防のポイント

- 一、何でもいいで身体を動かす。
- 二、たんぱく質をとる。
- 三、お口の健康に気をつける。
- 四、出かけて地域とつながる。
- 五、生きがい・やりがいを見つける。

深町の植物

力石 卓夫 (三原市宗郷)

《コマツナギ》



駒繫ぎ。馬をつなげるほど茎が丈夫という意味から

※七月二十六日撮影